当院では以下の研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた過去の記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

80 歳以上の高齢女性における緊急腹部手術後の術後合併症予測スコアリングシステムのの有用性に関する後ろ向き観察研究

１．研究の対象

2022 年 1 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日までの当院にて腹部緊急手術を受けられた 80 歳以上の女性の方。

２．研究目的・方法

２-１研究の目的及び意義

我が国では高齢化に伴い、高齢の方に対する手術の機会が増加しています。特に 80 歳以上の方では加齢に伴う体力の低下に加え、複数の疾患を有することが多く、緊急手術後の合併症リスクが高いことが知られています。

一方、緊急手術では十分な術前評価や全身状態の最適化を行う時間が限られるため、全身状態及び手術による負担を客観的に評価し、術後のリスクを予測することが重要です。そのために術前、術中の状態から術後リスクを評価できるスコアリングシステムの使用が有用であると考えます。

そのため、当院での 80 歳以上の女性の緊急腹部手術後の症例の抽出を行い、それぞれの方において術前リスクスコア、手術侵襲スコア、総合リスクスコアの算出を行います。その結果が Cladien-Dindo 分類と呼ばれる術後合併症のグレード分類と実際に相関があるかの評価を行います。高齢化に伴い、今後高齢の方に対する手術の機会は予定手術・緊急手術を問わずますます増加するものと考えられます。そのため、本研究で得られる知見は今後、高齢の方の手術を安全に行うにあたって有益な情報となると考えております。

２-２ データの収集方法

本研究では、当院での 2022 年 1 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日までの当院にて腹部緊急手術を受けられた 80 歳以上の女性の方の情報を抽出し、コンピューター上に入力します。入力される情報は、患者さん個人が特定できないように匿名加工が行われ、管理、解析されます。

２−３研究実施期間

研究実施期間は臨床研究倫理審査委員会承認日から 2026 年 12 月 5 日までとなっております。

３．研究に用いる試料・情報の種類

患者さんから発生する試料はございません。収集、管理、解析される情報は、手術ごとに診療録から抽出されカテゴライズされた、診断名、施行手術術式、手術時間、合併症の有無、合併症の内容、合併 症の程度、合併症の転帰、手術日となります。

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

本研究に関する質問・確認等の連絡先・本研究への情報の利用を拒否する場合の連絡先：

社会医療法人社団 東京巨樹の会 東京品川病院
〒140-8522 東京都品川区東大井 6-3-22
研究責任者：三輪 雄大（産婦人科）
TEL：03-3764-0511（病院代表番号）
E-mail:yu-ta.miwa@med.toho-u.ac.jp

（2026 年 10 月 5 日作成）